

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	鹿児島県指定 第4670600156
法人名	社会医療法人 昴和会
事業所名	グループホーム 風の丘
所在地	阿久根氏赤瀬川379-1 (電話) 0996-72-7023
自己評価作成日	平成28年9月

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

東シナ海に沈む夕日は絶景であり、左は薩摩川内市の甕島、右は天草を望み眼下には、阿久根大島を一望できる高台に立地している。
風の丘では、理念に基づいたケアに努めて入居者様に強制しない自由な生活、心安らぐ生活を送れるように笑顔で接することを心掛けている。
健康管理に努め、訪問診察、訪問看護ステーションとの連携を図り急変時などに備えている。
特に感染対策に力を入れており、毎食前とお茶前には石鹸使用にて手洗いを徹底している。入浴日以外には、陰部清拭を行なっている。
法人内で介護課が創設してあり、経験年数に合わせて研修会が開催され職員の知識、技術向上に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○施設は阿久根市中心街の国道から脇道に入った高台にあり、天気の良い日は阿久根市街地や甕島が眺望できる見晴らしのよい静かな環境にある。ホームのすぐ後ろには同法人の介護老人保健施設や他グループホームがあり、同老健の交流会や文化祭、他ホームの運営推進会議への参加など密な連携と協力体制が構築されている。施設内部は天井が高く広々とした印象で、白を基調とした内壁は明るく清潔で、事務所とキッチン、リビングが工夫された配置となっている。
○地域のいきいきふれあいサロンへの参加や看護学生、高校生の実習生の受け入れ等地域との交流が多く、認知症サポーター養成講座の取り組みやグループホーム連絡協議会に参加するなど、地域密着型サービス事業所として幅広く活動している。
○自主訓練や時には抜き打ちでの避難訓練の実施、運営推進会議での防災訓練等、災害対策への意識が高く、同法人の職員や地域住民の協力も得られ、事業所全体で施設安全に取り組んでいる。
○看取りの実績はないが、母体病院からの訪問診療や関係事業所からの訪問看護による適切な医療提供と連携に努めており、身体状況に応じて迅速・丁寧な支援を行っている。
○担当スタッフによる利用者への細かな配慮が見られ、感染症予防のこまめな手洗いや陰部清拭の実施等、利用者個々に寄り添うサービス提供を行う事で、心と身体への安らぎや家庭的な温もりを与えている。たとえ、重度化や認知症の進行はあっても、利用者の「尊厳と権利」を尊重する理念のもとスタッフ全員が本人本位のサービス提供の目標に向かい日々取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り後、理念を唱和し、その理念に基づき、日々のケアに携わり毎月の職員会議において管理者、職員同士で振り返り反省し、実践へと繋げている。	「なじみの人間関係」の中から利用者の尊厳と権利を尊重し地域社会との交流や豊かな自然の中で、家庭的な雰囲気のもと安らぎに満ちたケアにより安心・安全な暮らしを提供できるよう実践に努めている。理念の唱和や振り返りを繰り返しながら、職員間の共有と意識付けを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	いきいきサロンや同法人との交流会に参加したり、近隣にあるグループホームに出掛けたりして地域との関わりを大切にしている。	地区のいきいきふれあいサロンへの参加や他グループホームとの交流、踊りの慰問や同法人の行事参加など地域社会の一員として日常的に交流を図りながら地域支援活動に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	いきいきサロンや運営推進会議などにおいて認知症についての理解や支援方法など伝達をしたりして理解してもらえるように心掛けている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し入居者の状況報告を行い疑問点など話し合い改善に向けて職員同士共有し取り組むように努めている。	市役所、民生委員、自治会長、住民代表、家族代表、他グループホーム管理者、同法人の老健の事務長、消防署職員・警察等、多様な参加にて2ヶ月に1回開催している。年1回は会議時に合わせ、避難訓練を実施している。サービスの現状報告や行事報告、インシデント・アクシデント報告や行政からのお知らせ、消防・警察からの防災に関する指導、活発な意見交換を行い、そこでの情報、意見をサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者にも運営推進会議に参加してもらい活動報告、実情の把握、情報提供をしている。 介護認定更新時などに情報収集や必要に応じて担当者と連携を図っている。地域密着連絡協議会を開催してもらっている。</p>	<p>運営推進会議や地域密着型サービスの連絡協議会、介護保険申請の対応時を利用し、行政の担当者と情報交換を行い日頃から連携し、協力体制を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束においては勉強会を実施しており、日々入居者様のケアにおいて、行動抑制することなく生活を楽しく送られている。</p>	<p>身体拘束マニュアルを作成し、法人内の研修、施設内部の勉強会を行い、虐待防止や身体拘束に関するケアについて全職員が正しい理解を深めながらサービス提供に努めている。玄関の施錠を含めた行動制限につながる行為は行わず、徘徊利用者に対する同行散歩や業務改善を図りながら安らぎと安心感のある支援に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止については、年に1回の勉強会を実施し確認を行なっている。入居者様の尊厳を守り日々のケアを行っている。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業については、1名の入居者様が利用されているので社協と連携を図り理解に努めている。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約や介護保険改定時には、管理者より説明を行い理解、納得をもらってから同意書に記銘・捺印をもらっている。</p>	/		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からの意見や要望などほとんどないが、運営推進会議や家族会などで意見が出れば職員全員で話し合い改善に向けて取り組むように心掛けている。</p>	<p>意見箱の設置や面会、年2回の家族会、運営推進会議など利用者・家族から運営に関する意見や要望を聞く機会を多く設けており、必要に応じサービス改善に努めている。遠方にいるキーパーソンについては、ホーム便りを作成し、現状報告を行っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から、管理者と職員とのコミュニケーションに心掛けて、意見を出しやすい雰囲気作りを行なっている。職員会議など提案や意見を言えるように事前に知らせている。</p>	<p>管理者は、現場スタッフとの円滑な人間関係の構築を第一に考えており、日頃からスキンシップやコミュニケーションを図りながら、信頼関係を深めている。また、個別相談や勤務変更、資格取得やスキルアップの為の研修等、様々な対応を図り働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。運営に関する意見や提案については、必要性を職員会議などで検討し、場合によっては法人へ上申するなど業務改善とサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人員配置においては、余裕を持った配置を行っており、急な欠員が出ても交替出来る体制を取り対応している。 法人の研修会に参加するなど、各自が目標を持ちながら働ける環境作りに努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>介護課研修や法人内全体研修などの開催時には、全職員が出席し、研修で学んだことを日々のケアに繋げていけるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に入会しており、研修会などを通して、他施設との交流を図っている。 近隣のグループホームへ訪問するなどして職員と情報交換など行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が不安や困っていることを理解し、安心してもらえるように何回も話し合い信頼して頂けるように関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の立場に立ち不安な気持ちや要望をしっかりと受け止めて信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思いや求めているものを確認し、必要なサービスに繋がられるような対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩であることを職員全員が共有し、日々お互いが一緒に行動しながら、穏やかな生活が出来るよう声掛けなど行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やホーム便りで日々の出来事や気付きの情報を伝え本人と家族の絆が途切れないように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事や他施設行事に参加し、利用していた美容院に通ったり自宅へ行ったりして出会いの場を作っている。	美容院や墓参り、同法人の行事参加、ドライブ、いきいきふれあいサロンへの参加など、利用者のなじみのある人や場所との継続的な支援に努められるよう家族と協力しながら取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員全員が入居者同士の関係を把握し、席の配置や話題の提供を行ない、お互いが思いやれるように入居者同士の良い関係が作れるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後にも本人の様子を伺いながら相談できる関係を築き、いつでも支援できる体制を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向に添えるよう職員同士で話し合い、満足して頂けるように努力している。	利用者本位の支援が提供できるようサービス提供時のアセスメントにて利用者の意向や希望の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は家族の意見を参考に、尊厳と権利を念頭に置きながらケアに取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約時に十分な聞き取りを行い、入居後も本人や家族などから以前の生活環境を尋ねている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを把握し行動、言動の観察をして職員全員で把握できるよう、申し送りノートを活用し情報共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向を取り入れ作成している。モニタリングも行い、入居者の担当職員を中心に情報を共有し、現状に添った計画を作成している。	利用者・家族の希望に沿って主治医をはじめ専門スタッフとの情報の共有化を図り、ケアの課題などについては職員会議やケアカンファレンスにて現状に即したサービス提供が実践出来るようケアプランを作成している。利用者毎の担当職員からの意見や各スタッフからのモニタリングを参考にサービスの達成度を把握し、身体状況の変化があればその都度見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を記録し、気付きや工夫を申し送りで情報の共有をしてケアに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じ訪問看護と連携を図り通院介助、または外出、外泊の支援を行なっている。急変時にもすぐに対応できるように、訪問看護との連携を図れる体制を取っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>買い物、美容室、いきいきサロン、同法人の誕生会行事などに参加し、なじみの人と会い楽しむことができるようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の訪問診察と体調不良時に訪問看護に相談、病院受診し、家族に報告している。医師に聞きたいことなどをメモを取っている。入居者行きつけの眼科受診も付き添っている。</p>	<p>利用者・家族のかかりつけ医への病院受診のため、関係スタッフと協力しながら支援している。その他、訪問診療や訪問看護による医療連携等、適切な医療サービスの提供に努め、他科受診についても家族の協力を得ながら取り組んでいる。診療情報提供や受診後の報告など、常に密な情報の共有が図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回の訪問看護があり急変時やいつもと様子がちがう時に訪問看護に連絡して訪問してもらったり、指示をもらったりしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>サマリーを提供している。お見舞いに行き様子うかがいをしている。地域連携室との連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>今まで、終末期を迎えた入居者はいないが、本人や家族の意向に添えるように病院、訪問看護への支援体制を整えている。</p>	<p>重度化や終末期の支援については、法人の方針に沿った事業所独自の「看取りに関する指針」を作成している。また、事業所で出来るサービス内容については利用者・家族の意向を踏まえた上で、十分な説明を行い、同意を得ている。看取りの実績はないが、訪問診療や訪問看護の医療支援など看取りに対する施設体制は十分対応可能なレベルである。主治医と各スタッフがチームとなり安心・安全なサービス提供に向けて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>阿久根消防署に依頼して勉強会を開催してもらっている。急変時のマニュアルを確認するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼、夜勤帯での避難訓練を実施して、近所の方への協力をお願いしている。 備蓄品も準備している。</p>	<p>火災・地震・水害などの自然災害対策に伴う避難・防災訓練を夜間想定も含めて年2回実施している。自主訓練や抜き打ち訓練の実施など全職員が災害や緊急時の対応や方法を身につけており、備品・備蓄・消防設備についても完備されている。AEDの講習や消防設備の点検・修理なども定期的に行われている。地域住民や同法人の老健職員の協力支援体制も構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	耳元でのトイレの声掛け、要望に応じた対応をしている。お手伝いをしていただいたときは感謝の言葉をかけている	尊厳と権利を大切に理念に基づいた声かけや支援に努め、利用者の人格の尊重とプライド、プライバシーなどを侵害することがないように、勉強会や法人内で行われる研修などで常に振り返りとスキルアップに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者が希望が言えるように、声掛けや雰囲気作りを行なっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のプログラムはあるが、本人の気持ちを聞き無理強いすることなく過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	なじみの美容室に出掛けたり、移動美容室で髪染めなどしている。自分で整容している人もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きや配膳、盆配り、箸配り、下膳を出来る方にしてもらっている。 きざみ食や小さめに切り提供している。季節の食品を使用している。	法人の管理栄養士による食事メニューを参考に献立を作成し、食前の口腔体操や利用者の個々に応じた食事形態、食事介助などを行い、職員も一緒に食事をとっている。食事が楽しみなものになるよう、家庭菜園で収穫された野菜を食材に使用したり、季節の行事食、外食を取り入れ、食への関心・興味をもたせる工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量や水分量を記録し、状態に応じて、入居者の好みの食べ物などで対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に、声掛けや見守り、介助を行い対応している。夜間帯は義歯を洗浄剤につけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を活用し、声掛けや見守り、要望に応じてトイレでの自立に向けた支援を行なっている。	生活リズムや排泄パターンの把握に努めることで、オムツ使用の軽減を図り、出来る限り自然排泄による自立支援に努めている。排尿・排便コントロールが困難な利用者については、主治医と連携し、内服薬を使用するなど日常生活が快適に過ごせるよう支援している。排泄チェック表やポータブルトイレの配置、失禁者に対する清拭などプライバシーや自尊心を侵害する事がないよう配慮しながらケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のレクリエーションでの体操、散歩や廊下歩行など、身体を動かしている。食物繊維の多い食品、水分補給を行なっている。また、個々に応じた内服薬で排便コントロールされている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まってはいるが、入浴日には、健康チェックを行い一人一人のタイミングに合わせて身体状態を確認しながら、楽しい入浴ができるように支援している。	入浴日を決めて、週に3回の個浴支援を行っている。失禁者への身体清潔のための洗身は、その都度実施し、入浴のない日も陰部清拭を必ず実施する事で身体保清に努めている。利用者は個々に好みのシャンプー・リンスを使用し、時にはボンタン湯など入浴を楽しむ工夫をしている。全身状態を常に観察しながら皮膚疾患のある利用者については必要に応じて軟膏塗布を行い、入浴拒否の利用者の場合は声かけの工夫をして入浴を促し、支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、生活のリズムを整えるよう努めている。個々の体調に合わせて休息できる支援を行い、生活習慣にあった寝具選択、就寝時間も一人ひとりのペースに合わせて支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容、副作用、用法、用量について理解し内服変更時は症状の変化を主治医へ報告し確認に努めている。 また、内服一覧表綴りに保管し、いつも閲覧できる環境にある		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で出来る仕事をお願いし、その都度感謝や労いの言葉を伝えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人の体調を考慮しながら、近隣の散歩、買い物、なじみの美容院への外出、一時帰宅、地域のいきいきサロン参加など、外出の機会を多く持てるよう支援している。	公園への遠足やドライブ、花見や買い物、美容院や墓参り、1泊2日の家族との温泉旅行、同法人の行事参加、他グループホームとの交流、地区のふれあいいきいきサロンへの参加など、家族と協力しながら、利用者の希望に沿って日常的な外出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームで管理している現状だが、家族の協力を得て少額のお金を持てる方もいる。買い物の際は、代金を支払えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族、知人からの電話を取り次いでプライバシーに配慮している。個人で携帯電話を所持されている方もおり、遠方の家族と自由に会話されている。ホーム便りを毎月送付している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた飾りつけ、一人ひとりの作品、行事の写真展示など工夫している。掃除を毎日行い清潔に努め、好きな場所で寛げるような空間作りをしている。	敷地には家庭菜園やバナナの木があり、玄関横には眺望を楽しみながら日光浴ができるウッドデッキを設置している。渡り廊下やリビングは天井が高く奥行きのある広い空間となっており、大きなソファが置かれ、利用者のくつろぎと交流の場となっている。廊下や壁には季節の花や行事の写真、利用者の作品が飾られている。事務所とキッチン、リビングが工夫された配置となっており、移動や日常生活支援が円滑に出来るように造られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、玄関、廊下にソファや椅子を設置、一人ひとりが落ち着いた場所で過ごせるように自由に場所も移動できるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族、本人と相談しなじみの物、写真、カレンダー、時計、位牌など、その人らしく過ごせるよう支援している。</p>	<p>利用者の居室は洗面所・低床ベッド、クローゼット、エアコンが完備され、スペースも十分な広さが確保されている。なじみのある物を持ち込み、家族や職員と共にレイアウトを工夫している。写真や作品、仏壇や時計、カレンダーや花など、利用者個々の特色が感じられる部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内はバリアフリーで自分の部屋が分かるような表示したり、また不安な際は付き添い声掛けを行い安心されるまで支援している。一人一人に合わせた室内履きを使用してもらっている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない